

数学者・永田さん顕彰 大府で講座

考えて解けば
算数は面白い

大府市出身の数学者、永田雅宜さん(一九二七―二〇〇八年)の「考えることは楽しい」という思いを広める永田雅宜氏顕彰記念講座「算数・数学と友達になろう」が、共長公民館など同市内の四公民館で開かれた。

講座は八月下旬にあり、横根公民館では小学五年、中学二年の二十二人が出席した。至学館大の鈴木正則教授が講師となり、「ヒルベルトの第十四問題」と呼ばれる数学の難問を三年間考え続けて、世界で初めて解いた永田さんの生涯を紹介。

介。「学校で先生が丸をつけてくれるのと違い、誰も解いていない問題は、いろいろな解き方をして、間違いないことを自分で見つけることが大事」と説明した。

さらに、永田さんが実践した方法で、子どもたちと難関中学校の入試の図形問題を解いた。算数が好きで参加したという大東小五年、西嶋啓輔君は「初めての解き方を知って楽しかった。この先にも生かしたい」と話した。

鈴木教授は「公式を覚えなくても工夫すれば解けることを体験して、算数、数学が楽しくなれば。子どもたちが熱心に解いてくれてうれしかった」と振り返った。

(栗山真寛)



鈴木教授と図形問題を解く子どもたち。大府市横根公民館で